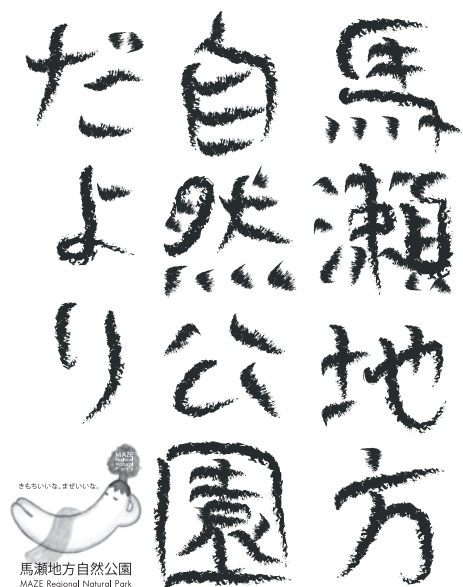




桜咲く季節。



馬瀬地方自然公園
MAZE Regional Natural Park

「ディスカバー農山漁村の宝」 フォローアップ調査

馬瀬地方自然公園づくりが優良事例に選ばれる

桜の花も満開、樹々も日ごとに緑を増しています。昨年3月から1年間続いた新型コロナウイルスとの闘いもようやく落ち着きを見せてきました。いよいよ新年度が始まりましたが、コロナが一日も早く終息し安心して暮らせる年度になることを願っています。そのような中、うれしいニュースが届きました。

1 「ディスカバー農山漁村の宝」とは

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、農林水産省が平成26年度から開始した「強い農林水産業」「美しく活力のある農山漁村」実現のため、農山漁村の持つ持っている地域の潜在力を引き出し地域の活性化に取り組んでいる優良事例を選定し全国に発信するものです。

馬瀬地方自然公園づくりの活動は、平成27年（第2回）において選定を受けています。

2 フォローアップ調査の目的

フォローアップとは、ある事例を徹底させるためにその効果を確認しながらもう一度その進展状況を確認することです。

農林水産省では、昨年12月にディスカバー農山漁村の宝に選定された第1回（平成26年度選定27地区）、第2回（平成27年度、23地区）の合わせて50地区を調査し、馬瀬地方自然公園づくり協議会を含む10地区の優良事例を選びました。

東海3県では馬瀬地区のみの選定となっていますが、このような評価を頂けたのも地域の皆様のご理解とご支援のおかげとあつく感謝申し上げます。

コロナ後の時代（アフターコロナ）も厳しいものが想定されますが、私どもの活動が地域の活性化に少しでも寄与できるようさらに努力を続けていけることを願っています。

3 選定後5年間の主な成果

- ① 馬瀬の魅力を活かした里山ウォーキング、五平餅づくり、魚のつかみ取り、バイクツアーなど農林業体験の参加人数が3,000人に達した。
- ② 馬瀬地域産品認定制度を創設し、米、鮎、味噌などのブランド化（平成27年度から）。
- ③ 下呂市のDMO、エコツーリズム構想による市内の協力的体制づくり（平成29年度から）
- ④ 組織を一般社団法人に移行し、組織力の強化を図った（平成31年度）。
- ⑤ 少子高齢化に対応するため、関係人口（馬瀬ファン）の確保の取り組み開始（令和元年から）
- ⑥ コロナ後に備え、ホームページ、SNSでの情報発信の強化（令和2年度から）



美輝の里駐車場周辺 樹木の枝落とし（令和3年3月）

馬瀬地域おこし協力隊 活動報告 (今井美歩)

みなさん。こんにちは。馬瀬地域おこし協力隊今井です。溪流釣りが解禁し、川に釣り人がいる風景が戻ってきました。愛知県、岐阜県に非常事態宣言が発令されている中の解禁となり、事前の注意喚起、当日の呼びかけを行い、コロナ禍での地域への配慮をお願いしました。釣り人さんたちに距離を保ちながら話を聞くと、近所にも川はあるが馬瀬川環境のなかで釣りがしたかった、やっぱり放流の魚がキレイで他と違うという声が多かったです。二村有三さんや小池養魚場さんの日々の努力が釣り人さんたちに伝わっていて勝手に嬉しくなりました。1日の気温変化が激しいこの季節は、天然の魚はまだあまり食いがいいとされています。それでも、黒石より上流には天然狙いの釣り人が多く、人気の高さを改めて実感しました。

解禁前日と翌火曜日には、多数の釣り人さんが駐車するであろう放流地点(豊年橋周辺、漁協周辺、坂本橋周辺)で清掃を行いました。前日のゴミは鮎の時期から蓄積していたもので、各地点で内容が微妙に違うことに気が付きました。まず、豊年橋。三か所のなかでは圧倒的にゴミは少ないです。けど、たばこの吸い殻が一番多かったんです。とんで、坂本橋。肥料の袋、服、発泡スチロールと上流から流れてきたか飛んできたであろうものが多かったんです。最後、漁協。ちょうど道から一段下がっている杉林にビール、ワンカップの日本酒、ペットボトルがたくさん落ちていました。よく車中泊ポイントになっている場所の真横の藪に集中していました。明らかに故意と見られるアルコールやたばこのポイ捨てについては衛生上の問題もありますが、美しい環境を求めて馬瀬に釣りにこられる方が多いなかで残念に思いました。今後も定期的に見回りつつ、対策をしていきます。なお、翌火曜日の見回りでは全然ゴミがなく、ちょっと胸をなでおろしました。

ここまで、ゴミ問題に触れてきましたが、全国的に「水環境の保全」というのが重要視されています。馬瀬地域は、水源涵養林を多く有する水源地であり、馬瀬川を通して、水と大きく関わりを持つ地域です。川は川底まで透き通っているのが当たり前で、生活に山水を利用されているご家庭も多いかと思います。しかし、下流地域では水の富栄養化が進行し、水質や悪臭で問題が発生しています。そんな水をきれいにするために、最近、活用され始めた身近なものがあります。『使い捨てカイロ』です。ちょっと難しい話をしますが、使い捨てカイロに含まれている二価鉄イオンは、ヘドロと反応し、悪臭の抑制、水の浄化に有効で、環境や生物に悪影響を及ぼすことなく、水質改善・水環境の改善を実現することが東京海洋大学の研究にて実証されたんです。簡単に言うと、普段捨てる使い終わったカイロに水をきれいにする力があるということです。そこで、まだまだ寒さの残る馬瀬地域の皆さんにお願いします。使い捨てカイロを捨てずにとっておいて下さい。振興事務所に4月1日～「使い捨てカイロ回収ボックス」を設置します。熱を完全に出さなくなったカイロをビニール袋でくるんで、ポイッと入れて下さるだけで大丈夫です。まとめて、使い捨てカイロによる水の浄化活動を行っている団体に送らせて頂きます。同時に、回収ボックスを置かせて頂ける場所を募集します。ご協力、お願いいたします。



あまご放流



漁協付近ゴミ



豊年橋付近ゴミ



坂本橋付近ゴミ

《馬瀬地域の人口》(3月1日現在)

※()内は先月比±

総数 1,078人 (-2人) 男: 522人 (-1人) 女: 556人 (-1人) 世帯数: 405世帯 (-2世帯)

■馬瀬地方自然公園ホームページ

<http://www.mazeshizenkouen.jp/>

■Facebook 馬瀬地方自然公園ページ

<https://www.facebook.com/mazemura>



フェイスブックでは、馬瀬地方自然公園のページへの皆さんの投稿をお待ちしています。馬瀬で開催される様々なイベント、集いなどの情報の提供をお願いします。